

新規受託開始のお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記の検査項目につきまして、新たに受託を開始させていただくこととなりましたので謹んでご案内申し上げます。

先生方には何卒ご利用いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

■新規受託開始項目および実施日

【実施日】 2022年 2月 21日(月) ご依頼分より開始

項目コード	検査項目	検体量(mL)	容器	保存(安定性)	所要日数	実施料判断料	検査方法
4390	minor BCR-ABL1 mRNA (%)	血液 7.0	G	冷蔵(1日) 凍結不可	5~7	2520 遺伝子	RT-PCR (リアルタイム PCR)
	(予約検査)	骨髄液 1.0	H3				

- ・受託可能日は月~金曜日です。
- ・検体採取後、速やかにご提出ください。
- ・本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。また、他項目との重複依頼は避けてください。
- ・本検査は、e1a2の測定はできますが、e1a3の融合mRNAの測定はできません。
また、e1a2の融合mRNAにおいてもプライマー及びプローブが結合する領域に変異がある場合には、minor BCR-ABL1 mRNAの測定ができないことがあります。

以上

検査のご依頼に関するご不明な点やご要望等につきましては、弊社営業担当、または学術インフォメーションまでお問い合わせ下さい。TEL:075-631-6230

● minor BCR-ABL1 mRNA (%)

急性リンパ性白血病(ALL)の診断補助およびモニタリングに用いることが出来る本邦初の体外診断用医薬品を用いた定量検査となります。

急性リンパ性白血病(ALL)は、骨髄において前駆 B 細胞または前駆 T 細胞が腫瘍性に増殖した疾患であり、ALL における予後不良因子としてフィラデルフィア染色体(Ph 染色体)の存在が挙げられています。

Ph 染色体は、9 番染色体長腕(9q34)に座位する ABL1 遺伝子と、22 番染色体長腕(22q11)に座位する BCR 遺伝子の相互転座により形成されます。

BCR-ABL1 融合遺伝子の BCR 遺伝子切断点は Major BCR と minor BCR の 2 カ所に集中していることが知られています。

本項目は RT-PCR(リアルタイム PCR)法を用いて minor BCR-ABL1 の発現量を測定し、minor BCR-ABL1 mRNA/ABL1 mRNA 比(%)を報告します。ALL の診断補助および治療経過のモニタリングなどに有用です。

[4390] minor BCR-ABL1 mRNA (%) 報告内容について

事例	minor BCR-ABL1/ABL1 比 報告内容	報告コメント
minor BCR-ABL1 mRNA 測定値が測定下限値13.58コピー/テスト未満の場合	(13.58/ABL1 mRNA 測定値)%未満	なし
minor BCR-ABL1 mRNA 測定値が検出されなかった場合	検出せず	BCR-ABL1 が検出されませんでした
ABL1 mRNA 測定値が10000 コピー/テスト未満の場合	計算不能	別紙ラポレター※

※正報告書と合わせて、別紙報告書にて詳細をご報告いたします。

—参考文献—

J Gabert, et al:Leukemia 17(12):2318~2357, 2003. (検査方法参考文献)

JV Melo, et al:Blood 81(10):2488~2491, 1993. (臨床的意義参考文献)